

平成24年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

警固屋中学校区 校番 8 学校名 警固屋中学校

a 学校教育目標	未来を創造する豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション> (学校の使命) 小中一貫教育を通して、知・徳・体のバランスのとれた、義務教育を修了するにふさわしい学力と人間関係の力及びふるさとを愛する心を育成する学校を創造することを使命とする。
			<ビジョン> (将来の学校像) ・子どもも教職員も一人一人が自己存在感を味わう、笑顔あふれる学校を目指す。 ・家庭や地域の支援を得て、子どもの成長を喜ぶ、地域に開かれた学校を目指す。 ・創造に励み、実践を確かめながら進む、意欲と活気のある学校を目指す。

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	○学校生活は大きな問題行動が少なく、比較的落ち着いている。 △生徒一人一人が自律し、集団の向上のために貢献しようとする意欲を十分引き出せていない。 ○生徒の授業評価アンケートでは、「よくわかる」において全教科平均で9割ほどが肯定的評価をしている。 △家庭学習時間が目標に達していない。学力の定着にとって、マイナス要因である。
------------------------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・③ 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	10月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	学力の定着を図る。 <b>貫</b>	○「この先生に学んで良かった。」と思える授業づくりを行う。	・教えて考えさせる授業づくりを進める。 ・家庭学習の進め方と効果を具体的に示し、「家庭学習をして良かった。」と生徒に実感させる。	・授業の理解度の単元終了時における生徒の自己評価の肯定的な割合を85%以上にする。 ・学年別家庭学習時間の達成率を70%以上にする。	85%						
		○9年間を見通した授業づくりを行う。	・乗り入れ授業により児童の学習への意欲や理解力を高める。	・乗り入れ授業の児童の自己評価における意欲や理解に関する肯定的な割合を90%以上にする。	90%						
		○誰に対しても気持ちよく挨拶ができる生徒にする。	・教職員自ら気持ちのよい挨拶を心がける。 ・立ち止まって、自分から挨拶する指導を徹底する。	・(立ち止まって)挨拶をしている生徒評価を85%以上にする。	85%						
**	コミュニケーション力を育成する。	○生徒の「ことばの力」を高める。	・読書習慣の形成を図り、感性、表現力、創造力を豊かにすることで、「ことばの力」を育てる。 ・「ことばの力」を発揮する場を生徒に積極的に提供し、効果的に評価していく。	・1か月に3冊以上本を読む生徒の割合を50%以上にする。 「ことばの力」を発揮する作品募集等に1回以上応募する生徒の割合を90%以上にする。	50%						
		○一人一人の生徒に視点を当て、笑顔でほめる。	・機会を逃さず意識して生徒を笑顔でほめ、記録する。	・「自分の良さは周りの人に認められている」と肯定的に自己評価する生徒の割合を80%以上にする。	80%						
*	生徒の自尊感情を高める。	○一人一人の生徒に視点を当て、笑顔でほめる。	・機会を逃さず意識して生徒を笑顔でほめ、記録する。	・「自分の良さは周りの人に認められている」と肯定的に自己評価する生徒の割合を80%以上にする。	80%						
*	生徒の体力向上を図る。 <b>貫</b>	○生徒の体力・運動能力向上のための取組を行う。	・部活動の活性化を図り、準備運動等において体力・運動能力向上のための統一した取組を行う。	・長座体前屈県平均を上回る生徒を70%以上にする。	70%						

【k:評価】  
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100  
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60